

事務事業名 外国人高齢者・障害者福祉給付金支給事業

区分	No	名称					
章	1	やさしさと共生するまち					
節	3	誰もが安心して暮らせるまちをつくる					
施策	2	高齢者福祉の確立					
小分類	1	長寿社会の基盤づくり					
主要な施策	3	高齢者の生活基盤の整備					
事務事業番号	002	事業開始年度	平成 9 年度	事業終了年度	平成 - 年度	会計種別	一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	高齢・介護グループ
-----	-------	-------	-----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	国民年金制度上、無年金にならざるを得なかった在日外国人高齢者・障害者に福祉給付金を支給することにより、自立と安定した生活の継続を支援することを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成23年度の実績を具体的に記入してください)
	国民年金制度上、無年金にならざるを得なかった在日外国人高齢者・障害者に福祉給付金を支給する。 高齢者 : 月額 10,000円 障がい者 : 月額 25,000円 <b>【事業実績】</b> 外国人高齢者1名に福祉給付金を支給した。
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	事業継続により、国民年金制度上、無年金にならざるを得なかった在日外国人高齢者・障害者を支援し、福祉の向上を図る。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	外国人高齢者・障害者福祉給付金支給事業実施要綱(北海道) 登別市外国人高齢者・障害者福祉給付金支給要綱

事業費(財源内訳)の推移

《Plan・Do》

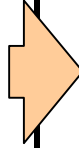
区分		単位	H22年度 決算	H23年度 決算	H24年度 当初予算	H25年度 見込	H26年度 見込
国庫支出金	名称	千円					
道支出金	名称 外国人高齢者・障害者福祉給付金支給事業費補助金	千円	12	12	24	24	24
地方債	名称	千円					
その他	名称	千円					
一般財源	名称	千円					
事業費合計			12	12	24	24	24

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	22年度 実績	23年度 実績	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果指標	在日外国人高齢者・障害者に福祉給付金支給人数	人	目標値	1	2	2	2	2
			実績値	1	1			
	在日外国人高齢者・障害者に福祉給付金支給金額	千円	目標値	120	240	240	240	240
			実績値	120	120			

現況		《Check》
現状の状態、問題点、課題等《事業前》	具体的な対策、解決の方向性《事業後》	
国民年金制度上、無年金にならざるを得なかった在日外国人高齢者・障害者の自立と安定した生活の継続。	国民年金制度上、無年金にならざるを得なかった在日外国人高齢者・障害者に福祉給付金を支給することにより、自立と安定した生活の継続を支援できた。	



担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について		
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 国民年金制度上、無年金にならざるを得なかった在日外国人高齢者・障害者の支援であり、市が実施主体となることで、北海道の補助金を活用できるため。
	民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について		
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 国民年金制度上、無年金にならざるを得なかった在日外国人高齢者・障害者の支援は必要である。
	市民アンケートの結果から必要性が高い	
	社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について		
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 全額、北海道の補助金を活用し、最低限のコストで事業を実施している。
	市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について		
目的を達成するための成果はあがっていますか？	成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 事業継続により、国民年金制度上、無年金にならざるを得なかった在日外国人高齢者・障害者の自立と安定した生活の継続を支援できている。
	市民、団体等の声から成果を感じられる	
	目に見える形で成果があがっている	
	成果の把握は困難である	

担当グループによる評価 《Check》

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	国民年金制度上、無年金にならざるを得なかった在日外国人高齢者・障害者に福祉給付金を支給することにより、自立と安定した生活の継続を支援し、福祉の向上を図ることができている。
-----------	----------------------	---

行政評価会議による評価 《Check》

<b>維持</b>	備考
-----------	----